

## 被災港湾で初、津波堆積土砂を ケーソン中詰材として有効活用

～津波堆積土砂をケーソン中詰材として活用し、地域復興に貢献～

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴う大津波により、八戸市沿岸部に大量の土砂が堆積し、その処理をどうしていくのか、地元八戸市では喫緊の課題となっていました。

このため、当事務所では、津波堆積土砂を北防波堤災害復旧工事に活用することができないかを検討した結果、北防波堤のケーソン中詰材として有効活用を図ることとしました。また、津波堆積土砂をケーソン中詰材として使用することで、地域復興に貢献するとともに併せて工事費のコスト削減が図られます。

【ケーソン中詰材（津波堆積土砂）分級状況】



1次分級（40mmｸﾘｰﾝ）作業状況



2次分級（13mmｸﾘｰﾝ）作業状況

津波堆積土砂によるケーソン中詰材投入開始日の前日に津波堆積土仮置場所にて土砂分級（選別）方法等についての現地説明会を開催いたします。

【津波堆積土砂活用手順：別添資料参照】

### 記

#### ●現地説明会

日時：平成24年7月5日（木）14：00～15：00

場所：災害廃棄物ポートアイランド仮置場（八戸港貿易センター裏：北側）

※当日の気象状況により作業中止の場合があります。

【問い合わせ先】国土交通省 東北地方整備局 八戸港湾・空港整備事務所

電話 0178(22)9391

副所長 原田 久志

電話 0178(22)9394

保全課長 奈良 透

# ●津波堆積土砂活用手順



[コンクリート殻積込状況]



[撤去砂積込状況]



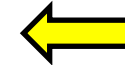
[撤去砂とコン殻運搬状況]



[撤去砂とコン殻混合後の積込状況]



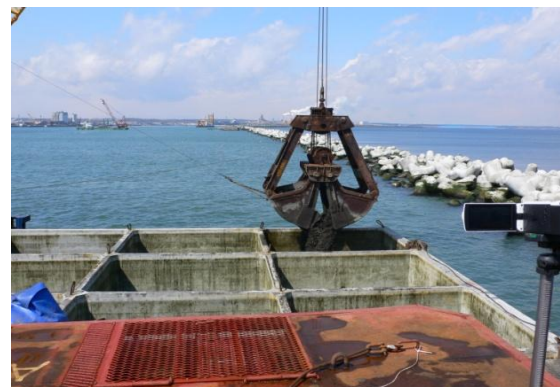
[撤去砂とコン殻混合状況]



[撤去砂とコン殻運搬状況]  
 コン殻 1 : 撤去砂 2 の配合割合はダンプ  
 トラックで管理  
 (写真中央部の両側が撤去砂ダンプトラック  
 2 台分で中央部がコン殻でダンプトラック  
 1 台分)



[撤去砂とコン殻混合後の投入状況]



[撤去砂とコン殻混合後の投入状況]

※ 津波堆積土砂は、まだ中詰材として使用していないため、撤去砂の投入状況を示す。